

## Introduction to Maternal and Child relationship

1 unit (selection) 3rd-year

Sachi Kishida · PROFESSOR / MATERNAL AND PEDIATRIC NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

**Target)** 母と子、および親と子の関係について、どのような考え方があるのかを現存する理論を基にして理解し、演習を通じてその現象の意味を深める。また、母児の関係を発達させるための母乳育児の重要性について学ぶ。

**Outline)** 母と子、および親と子の関係に関する Reva Rubin, Klaus and Kennell, Bowlby, Winnicott らの理論的考え方について講義により、紹介し、その考え方理解する。その理解に基づき、母と子(あるいは親と子)が一緒に行動している場を学生各自が観察する。観察できた現象を理論に照らし合わせながら、グループで同意点と相違点を討議し、グループ毎に母と子(および親と子)の関係について理解を深める。また、母乳育児に関して焦点を当て、母乳育児中における、母と子の関係とその成立ができるための要因について探る。

**Fundamental Lecture)** “Introduction to Maternity Nursing”(1.0)

**Goal)**

1. 母児関係の始まりについて理解する。
2. 母と子のきずなの形成について理解する。
3. Reva Rubin の母性論より、母性の主観的体験について理解する。
4. 愛着とは何か、Bowlby の愛着行動から理解する。
5. 母と子および親と子の関係の中での、親および子の発達について考える。
6. 母乳育児を成功させるための要因について理解する。
7. 母乳育児を行っている親と子の関係について理解をする。

**Schedule)**

1. 授業オリエンテーション、母と子の関係とは何か、母と子および親と子の始まりについて
2. 妊娠期からの母と子の関係、母子相互作用について
3. Reva Rubin による妊娠出産における母性の主観的体験について
4. Bowlby の愛着行動について
5. 母と子の接近行動の実験、子の個体化の過程について
6. Winnicott による児の情緒的発達について
7. 母と子の関係を形成する上での母乳育児の位置づけと、その成立要件について
8. 母と子(あるいは親と子)と一緒にいる場面に出向き母と子(親と子)の観察を行う
9. 母と子(あるいは親と子)と一緒にいる場面に出向き母と子(親と子)の観察を行う
10. グループ作業、観察できた内容を持ち寄り、理論に照らし合わせる。
11. グループ作業、観察できた内容を持ち寄り、理論に照らし合わせる。

12. 授業発表 / グループワークで行った母と子および親と子の関係について発表する
13. 授業発表 / グループワークで行った母と子および親と子の関係について発表する
14. 授業発表 / グループワークで行った母と子および親と子の関係について発表する
15. 授業発表 / グループワークで行った母と子および親と子の関係について発表する
16. 母と子(および親と子)の関係に関する総括

**Evaluation Criteria)** グループワークの発表に関する態度、貢献度、内容についての相対的評価、およびレポート

**Textbook)** 特に指定なし

**Reference)** 授業の中で、適宜紹介する

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217916>

**Contact)**

⇒ Kishida (+81-88-633-9032, [skishida@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:skishida@medsci.tokushima-u.ac.jp)) MAIL  
(Office Hour: 月 17:00-19:00)